

## 第5学年 体育科 評価規準

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
4 ～ 5 月	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動 (3時間)	知識・技能	体力の必要性や行い方を理解する。 体の動きを高める運動のねらいに合った動きができる。
		思考・判断・表現	自分の体の状態や体力に応じて運動の行い方を工夫したり選んだりしている。 運動のポイントや選び方について仲間に言葉や動作で伝えている。
		主体的に学習に取り組む態度	体の動きを高める運動にすすんで取り組んでいる。 仲間からのアドバイスを受け入れたり、友達の考えや取組を認めたりしている。 場や用具の安全に気を付けている。
4 月	短距離走・リレー (5時間)	知識・技能	短距離走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受け渡しをしたりすることができる。
		思考・判断・表現	自己やグループの能力に適した課題を見付け、課題に応じた練習の場や段階を選ぶ。 自己の能力に応じた競走（争）のルールや記録への挑戦の仕方を選ぶ。 自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを他者に伝える。
		主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組む。 約束を守り、仲間と助け合う。 用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たす。 勝敗を受け入れる。 仲間の考えを認める。 場や用具の安全に気を配る。

## 第5学年 体育科 評価規準

5月 ～ 6月	ネット型ゲーム (6時間)	知識・技能	ネット型ゲームでは、ボールを操作できる位置に体を移動したり片手や両手で空いている場所に返球したりしてラリーを続けることができる。
		思考・判断・表現	攻めの行いやすい規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりする。課題の解決のために考えたことを友達に伝える。
		主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組む。 規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり勝敗を受け入れたりする。 友達の動きのよさを見付けたり考えを認めたりする。 場や用具の安全に気を付ける。
5月	鉄棒運動 (5時間)	知識・技能	マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技ができる。 鉄棒運動では、支持系の基本的な技ができる。 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技ができる。
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決の仕方や組み合わせ方を選ぶ。 課題解決のために自己や仲間の考えたことを友達に伝える。
		主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組む。 約束を守り助け合って運動をしたり仲間の考えを認めたりする。 場や器械・器具の安全に気を配る。

## 第5学年 体育科 評価規準

6 ～ 7 月	水泳運動 クロール、平泳ぎ、安全確保に つながる運動 (10時間)	知識・技能	クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐことができる。 平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐことができる。 安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くことができる。
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫する。 自己や仲間の考えたことを他者に伝える。
		主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組む。 約束を守り助け合って運動したり、仲間の考えや取組を認めたりする。 水泳運動の心得を守って安全に気を配る。
9 月	表現 (5時間)	知識・技能	表現では、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができる。
		思考・判断・表現	自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表、 交 流の仕方を工夫する。 自己や仲間の考えたことを他者に伝える。
		主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組んでいる。 互いのよさを認め合いったり、助け合ったりしている。 場の安全に気を配って運動している。
9 月	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動 (3時間)	知識・技能	体力の必要性や行い方を理解する。 体の動きを高める運動のねらいに合った動きができる。
		思考・判断・表現	自分の体の状態や体力に応じて運動の行い方を工夫したり選んだりしている。 運動のポイントや選び方について仲間に言葉や動作で伝えている。
		主体的に学習に取り組む態度	体の動きを高める運動にすすんで取り組んでいる。 仲間からのアドバイスを受け入れたり、友達の考えや取組を認めたりしている。 場や用具の安全に気を付けている。

## 第5学年 体育科 評価規準

10月	ハードル走 (6時間)	知識・技能	短距離走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすることができる。 ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えることができる。 走り幅跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。
		思考・判断・表現	自己やグループの能力に適した課題を見付け、課題に応じた練習の場や段階を選ぶ。 自己の能力に応じた競走(争)のルールや記録への挑戦の仕方を選ぶ。 自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを他者に伝える。
		主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組む。 約束を守り、仲間と助け合う。 用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たす。 勝敗を受け入れる。 仲間の考えを認める。 場や用具の安全に気を配る。
10月	フォークダンス (4時間)	知識・技能	表現では、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができる。 フォークダンスでは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ることができる。
		思考・判断・表現	自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表、交流の仕方を選んでいる。 自己や仲間の考えたことを他者に伝える。
		主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組んでいる。 互いのよさを認め合いったり、助け合ったりしている。 場の安全に気を配って運動している。

第5学年 体育科 評価規準

10月～11月	保健 (心の健康) (4時間)	知識・技能	<p>①心は人との関わり、自然とのふれあいなど様々な生活経験や学習を通して年齢に伴って発達するが、発達の仕方には個人差があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②心と体は深く影響し合っていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③不安や悩みへの対処としての呼吸法や体ほぐしの運動について理解したことを言ったり書いたりしていると同時に、呼吸法や体ほぐしの運動を行うことができる。</p> <p>④不安や悩みは誰もが経験することであり、そうした場合には、信頼できる人に相談したり、気分を変えたりすることなど様々な方法があり、自分に合った適切な方法で対処できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>
		思考・判断・表現	<p>①自己の経験と学習したことを関連付けて、よりよく心を発達させる適切な方法や心と体の関わりについて考え、考えたことを説明している。</p> <p>②呼吸法や体ほぐしの運動を行い、行い方のポイントや気分の変化などについて気づいたことをワークシートに書いたり、不安や悩みに対する様々な方法を考え、学習したことを活用して、適切な方法を選んだりしている。</p>
		主体的に学習に取り組む態度	<p>①心の健康について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習、教科書や資料を調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。</p>
11月～12月	走り幅跳び・走り高跳び (6時間)	知識・技能	<p>短距離走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすることができる。</p> <p>ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えることができる。</p> <p>走り幅跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。</p>
		思考・判断・表現	<p>自己やグループの能力に適した課題を見付け、課題に応じた練習の場や段階を選ぶ。</p> <p>自己の能力に応じた競走(争)のルールや記録への挑戦の仕方を選ぶ。</p> <p>自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを他者に伝える。</p>
		知識・技能	<p>短距離走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすることができる。</p> <p>ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えることができる。</p> <p>走り幅跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。</p>

第5学年 体育科 評価規準

1 1 月	ゴール型 (バスケットボール) (6時間)	知識・技能	ゴール型ゲームでは、手や足でシュートしたり空いている場所に素早く動いたりしてゲームをすることができる。
		思考・判断・表現	攻めの行いやすい規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりする。課題の解決のために考えたことを友達に伝える。
		主体的に学習に取り組む態度	動に進んで取り組む。 規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり勝敗を受け入れたりする。 友達の動きのよさを見付けたり考えを認めたりする。 場や用具の安全に気を付ける。
1 2 月 ～ 1 月	マット運動 (6時間)	知識・技能	回転系や巧技系の基本的な技ができる。
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決の仕方や組み合わせ方を選ぶ。課題解決のために自己や仲間の考えたことを友達に伝える。
		主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組む。 約束を守り助け合って運動をしたり仲間の考えを認めたりする。 場や器械・器具の安全に気を配る。
1 2 月 ～ 1 月	保健 (けがの防止) (4時間)	知識・技能	①事故やけがの多くは、人の行動と周りの環境が原因で起こること。また、人の行動は、そのときの心や体の状態と関係していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②交通事故を防止するには、周囲の状況をよく見極め、危険に早く気づいて、的確な判断の下に安全に行動すること。また、安全施設の整備や適切な規制が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③学校や地域でのけが、犯罪被害を防止するには周囲の状況をよく見極め、危険を予測し、安全に行動することが必要であること。また、環境を安全に整えることが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ④けがをしたときは、けがの種類や程度などの状況をできるだけ速やかに把握して手当をし、近くの大人に知らせること。また、簡単な手当について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、簡単な手当ができる。
		思考・判断・表現	①事故にあいそうになったり、けがをしそうになったりした経験を思い出し、危険の予測や回避の方法を考えたり、選んだりするとともに、通学路などでの交通事故を防止するための具体的な方法を考え、考えたことを友達と伝え合ったりしている。 ②学校や地域でのけがの防止や犯罪被害を防止するための課題を見つけ、考えた解決方法を友達と伝え合っ

第5学年 体育科 評価規準

			たりするとともに、自分がけがをした経験を振り返り、学習したことを参考にして、けがの種類に応じた手当の仕方を選んだりしてしる。
		主体的に学習に取り組む態度	①健康や安全の大切さに気づき、けがの防止についての学習に進んで取り組もうとしている。
1月	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動 (4時間)	知識・技能	体力の必要性や行い方を理解する。 体の動きを高める運動のねらいに合った動きができる。
		思考・判断・表現	自分の体の状態や体力に応じて運動の行い方を工夫したり選んだりしている。 運動のポイントや選び方について仲間に言葉や動作で伝えている。
		主体的に学習に取り組む態度	体の動きを高める運動にすすんで取り組んでいる。 仲間からのアドバイスを受け入れたり、友達の考えや取組を認めたりしている。 場や用具の安全に気を付けている。
2月	跳び箱運動 (6時間)	知識・技能	跳び箱運動では、繰り返し系や回転系の基本的な技ができる。
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決の仕方や組み合わせ方を選ぶ。 課題解決のために自己や仲間の考えたことを友達に伝える。
		主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組む。 約束を守り助け合って運動をしたり仲間の考えを認めたりする。 場や器械・器具の安全に気を配る。
2月 ～ 3月	ゴール型 (サッカー) (7時間)	知識・技能	ゴール型ゲームでは、手や足でシュートしたり空いている場所に素早く動いたりしてゲームをすることができる。
		思考・判断・表現	攻めの行いやすい規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりする。 課題の解決のために考えたことを友達に伝える。
		主体的に学習に取り組む態度	動に進んで取り組む。 規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり勝敗を受け入れたりする。 友達の動きのよさを見付けたり考えを認めたりする。 場や用具の安全に気を付ける。